

## ウィンダミア夫人の扇 (1925)

LADY WINDERMERE'S FAN

メディア 映画  
ジャンル コメディ  
製作国 アメリカ  
色彩 B&W  
時間 72分  
初公開日 1927/01  
公開情報 劇場公開

## 【解説】

O・ワイルドの戯曲『ウィンダミア卿夫人の扇』の翻案映画化。いわゆる風俗喜劇、世話もの（Comedy of Manners）の傑作と言われているこの原作は、オットー・プレミンジャーによっても'49年に映画になった。かつての恋人との間に一人娘を作りながらも彼と別れたアーリン夫人は、社交界デビューを飾った娘を遠まきに眩しくみつめる。やがてウィンダミア卿夫人となった娘の前で、卿との関係も噂される恋多き女として登場する母親に真実の告白はできない。それを知って両者の間で立ち往生するウィンダミア氏。しかし、そんな夫を誤解している妻は、実の母のかつて犯したのと同じ不倫のあやまちに走ろうとする。これをなんとか制止しようとする母だったが……。ささやかな、しかし豪華な扇という小道具が素敵なドンデン返しをもたらし、幸福な大団円を迎える。その鮮やかな演出の洗練。誰あろう、映画においてこれ以上の“Comedy of Manners”の語り部はいまい、E・ルビッチその人の仕業である。

## 【クレジット】

監督	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
原作	オスカー・ワイルド	Oscar Wilde
脚本	ジュリアン・ジョセフソン	Julien Josephson
撮影	チャールズ・ヴァン・エンジャー	Charles Van Enger
出演	メイ・マカヴォイ	May McAvoy
	バート・ライテル	Bert Lytell
	アイリーン・リッチ	Irene Rich
	ロナルド・コールマン	Ronald Colman
	エドワード・マーティンデル	Edward Martindel